

A区分・C区分共通

No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野・種目(該当する分野・種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウト)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな	しょうたいむマジック		団体ウェブサイトURL
制作団体名	笑太夢マジック		http://www.showtime-magic.com
代表者職・氏名	林 太		
制作団体所在地	〒 221-0042	取寄駅(バス停)	神奈川新町
	神奈川県横浜市神奈川区浦島町5-16-608		
電話番号	045-453-5911		
ふりがな	しょうたいむまじっく		団体ウェブサイトURL
公演団体名	笑太夢マジック		http://www.showtime-magic.com
代表者職・氏名	林 太		
公演団体所在地	〒 221-0042	取寄駅(バス停)	神奈川新町
	神奈川県横浜市神奈川区浦島町5-16-608		
制作団体 設立年月	昭和58年4月		
制作団体組織	役職員		団体構成員及び加入条件等
	代表 林太 ゆう子	副代表 林	役員2名 監査2名
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担 当者を置く	本事業担当者名	林太

経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	林ゆう子
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	info@showtime-magic.com		

制作団体沿革	昭和58年4月林太を中心に笑太夢マジックを発足 * 「日本一マジック大賞」で優秀スライハンド賞を受賞(1980年) * 「全国大会」においてオリジナル賞を受賞(1981年) * 「インターナショナル・フルト・シップ・マジックコンペション」で準優勝を獲得 * 新橋演舞場公演「花の天勝」一か月出演(1999年) * 「世界マジックフェスティバル」に日本代表の一組として出演し日本人初入賞となる銅賞を受賞(2001年) ◆主な海外出演◆ * ニューオリンズで開催の「SAM(サム)マジック世界大会」ゲスト出演(1993年) * ポルトガルで行われた「フィズム」マジックオリンピックに出演(2000年)		
学校等における公演実績	* 文化庁芸術祭参加公演「カルーア伝説」(2007年) ・ 「いのちの不思議」(2010年) * 2012年2014年「心の花束」 * 2015年2016年「不思議なおもちゃ箱」 * 2017年「いつも心に花束を」 * 2018年「もったいない食品ロス物語」 * 2019年「わたしのお人形さん」 * 2020年new「いつも心に花束を」{不思議なおもちゃ箱} * 2017年2022年「島しょ芸術文化振興事業」 * 2022年度「いつも心に花束を」都内11か所19公演(子供を笑顔にするプロジェクト) * 2023年「いつも心に花束を」都内6か所9公演(笑顔と学びの体験活動プロジェクト)		
特別支援学校等における公演実績			
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/U8t1moNYBtA	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 笑太夢マジック】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	魔法の冒険「いつも心に花束を」～マジックマイム劇			
本公演演目	作・林ゆう子 / 演出・蕪木陽青生・木下隆			
原作/作曲 脚本 演出/振付	{プログラム構成} 1・あいさつ 2・「いつも心に花束を」上演 3・休憩 4・ワークショップ			
著作権、上演権利 等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合 権利者名		許諾確認状況	内部保有
演目概要	人は誰でも心の中に自分らしく咲く花のつぼみを持っています。その花を一人一人咲かせて欲しいとの願いを持って、マジックやパントマイムの旅を続ける芸人の愛のドラマである。始まりは何もない舞台にマジックで生み出した花いっぱいの世界が現れる。人への愛をもって旅に出たゆかいな夫婦は大きなカバンを持ち、町から町へと「マジック」と「パントマイム」で笑いと夢と希望をまき続けています。そして、マジックの合間に一本の植物に水をやる事を大切にしています。それは、観客の心の中のつぼみに水を与えている事に繋がるからなのです。水を注ぐたびに不思議に植物は少しずつ大きくなっていくのです。二人が生み出すマジックは観客が謎めく大仕掛けのものや日常の些細なドラマティックなマジックまで多彩な世界を織り成していきます。どんな時にも幸せのタネをまくために観客に楽しんでもらう為に芸に励むこの夫婦は舞台の上では良き芸の相棒、舞台裏ではドタバタ夫婦という人間臭さがなによりの取柄。後半マジックの合間に水を与えていた植物は大きな花を咲かせます。まるで自分の中の花が咲いた様に、フィナーレはいくつものフラフープを使った大輪の花が舞台いっぱいに咲き誇ります。「愛の花束をあなたの心の中に咲かせたい！」愛情いっぱいエンターティナー夫婦が贈る涙あり、笑いありの感動マジックマイムドラマ！			
演目選択理由	驚きと楽しさのマジックマイムの数々。でも、ただ不思議が一杯のマジックショーとは一味違います。一つ一つのマジックにはテーマが込められています。テーマとは「お客様一人一人の心の中に笑顔満開の希望の花を咲かせる事」です。近年世界中で新型コロナが蔓延し、人と人が分断され、またSNSやAI機能の急速な発達のため、かえって情報に振り回されてしまい自分を見失っている人が多く見受けられます。だからこそ、マジックの力で笑顔を取り戻したい、希望を届けたい、との思いで新たにミュージカル作家兼演出家（かぶきひさお氏）を起用し、台本を一新いたしました。マジックを完全な演劇にする事により、大切なテーマ「希望の花を咲かせる」が子供たちにダイレクトに伝わっていきます。どうなっているのかな？不思議だな。僕にもできるかな……」と好奇心を刺激し、先生と子ども同士で同じ視線で一緒に笑い、一緒になって喜ぶ。そのような温かい心と心の結びつきの中で安定感が生まれ、心が満たされていきます。特に最後の演目、8本のフラフープ「chain of life」（繋がるいのち）は、森羅万象を描き、「永遠に繋がる生命」を表現します。これを見た子どもたちからは「心の中に大きな花が咲いた！」と感動の声を頂いております。			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	ワークショップで会得したやさしく驚きのあるマジックや見えないのに見えるからだを使った空間の芸術パントマイムを舞台または前方に出てきて披露して頂きます。自分でも「できる」との発見と自信につながると思います。			
出演者	主演・笑太夢（林太）・キラリン（林ゆう子）			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者： 2 名 スタッフ： 2 名 合計： 4 名	運搬	積載量： 1.2 t 車長： 4.7 m 台数： 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込み		有		前日仕込み所要時間		3時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出	
	7:00	7:00~11:00		13:00~14:30	10分	16:00	16:00:00	
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。								

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採 択決定後に確認します。(大幅な 変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	5日	5日	0日	10日	10日	
	11月	12月	1月	計	60日	
	10日	10日	10日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	10
		鑑賞人数目安	150

公演に係るビジュ
アルイメージ
(舞台の規模や演出
がわかる写真)



※採択決定後、
図面等の提出を

【公演団体名 笑太夢マジック】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	50
ワークショップ実施形態及び内容	<p>{実施形態} 児童数配ったマジック道具2種類を主指導者を中心に講習します。補助講師を交えてパントマイムを講習します。{内容} *マジシャンが魔法学校の校長のキャラクターに扮して模範演技を披露します。*マジックの歴史をクイズ式にして解説。 *マジック2題</p> <p>①「オーバーザレインボー」色違いの虹を形どったボードにおまじないをかける と長さが変わったり同じになったりする ②「シーソーロープ」2色の輪になった紐を手や腕にかけて魔法をかけると上下の紐の順番が変わってしまう *パントマイム 「壁」という作品を体を動かして習得します。表現力が身に付きます</p> <p>*以上のマジックやパントマイム の一つを選んで児童代表者もしくは希望者に舞台か前方に出てきて披露して頂きます。</p>		
ワークショップのねらい	<p>子供達にとって初めて出会うマジックやパントマイムが難しいイメージにならない様、不思議が沢山詰まったマジックマイムのビジュアルから魅力に迫っていきます。「どうなっているの?」「不思議で面白い!」といった子供たちが抱く興味や関心を大切に、能動的な学びの創出を目指します。また、マジックがいかに大昔から発生し人と人を結びつける魅力を持ったコミュニケーションとして発展してきたかも知ってもらいたいと思います。</p> <p>{ワークショップのねらい} 1.目の前の人に見てもらい喜んでもらう 2.リアクションをもらえる事が楽しくなったり人に感動や驚いてもらう機会が増えるので自信がつき自尊心が養えます。 3.マジック・パントマイムは相手がどうすれば楽しんでもくれるかを常に考えながら演じるので客観性が養われ、コミュニケーション能力も上がります。その結果、興味を持ってもらい友達が増えます。 4.人によるこぼれる経験を積むと「今度はお楽しみ会でやろう、誕生日会でやろう」と積極的になれる。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等			

本事業への申請理由

【公演団体名 笑太夢マジック】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢 マジックやパントマイムの普及を目的とし、子どもたちの視点に立ってマジック マイムの出会いの場を作ります。マジックやパントマイムに直接触れる機会があ まりないと思います。私達はこの事業でマジックやパントマイムとの出会いを子 供たちにとってのファーストコンタクトであると受け止めます。また、子どもた ちの豊かな感受性や「何故・どうして?」といった興味、関心に寄り添い出発点 とする事によってマジックやパントマイムをより身近に感じる機会としたいと思 います。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫 笑太夢マジックは2003年より学校公演や自主公演をはじめ子供達へのマジッ クやパントマイムの普及に取り組んでいますが、そこでは必ず作品の思いや生命 の大切さを語っています。 当日までに担当先生と細部にわたりコミュニケーションを取り私達が語ってきた 作品に対する思いを共有します。</p>
--	---

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

① 離島・へき地等における公演実績
*種子島・神津島・利島での公演実績。今後石垣島・与那国島公演を予定。

②
離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫
*舞台装置は学校にあるもので対応する事ができ、最低限の道具で公演が可能です。 演目「いつも心に花束を」は2人芝居ですが、演劇的要素を含んだ魅力を伝える事のできる作品であります。
*本公演では体育館で最低限の照明でもよく見える様に衣装や舞台装置の工夫をしています。

③
C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫
*舞台セットは折り畳みパネル等を利用し、セットの質を保ち、1台のハイエース(車輜)に収めたり出演者、スタッフも合わせて車移動する事で運搬費を圧縮する工夫をしています。 *学校体育館にある設備を有効利用します。
*最低限の照明で対応出来る様に体育館の照明もお借りして鑑賞できる工夫をしています。